

●夏休み自由研究ガイド—川の虫をさがして水質を調べる ●読者からのおたより

第11号を読んで、みんなから寄せられた意見や感想を紹介するね。

○浅間山大噴火と利根川の関係とは？【学期に総合の学習で「あ」のかるたを調べた後、浅間山に行きました。そのときも調べたけど、この新聞でもっとよく知ることができました。温泉観察音堂のことをもっと知りたかったです。(小4・女)

○読んでいておもしろかった！中学の理科の授業で噴火のことをやっていたので、勉強になりました。あと、地震のことを今度記事にしてほしいと思いました！よろしくお願いします!!(中1・女)

○今まで知らなかった川のことがよく分かりました。また読みたいです！おもしろかった記事は「川を流れる水の「量」と「はやくさ」とは？」という記事です。(小4・男)

○浅間山大噴火の記事がおもしろかったです。ぼくの母さんが小学6年生のころ、浅間山の噴火があったそうです。自然のことなので、これからどうなるか分からないけど、大きな噴火にはならないようにと考えています。あと、湖水川の特徴も教えてください。お願いします。(小5・男)

○いつも「行ってみたい…」と思っていたけれど、ダムによって少しずつ遊歩道があるんだと思いました。(小5・男)

○神流川の伝統や滝石の由来が分かってよかったです。もっとたくさん伝統を知りたいので、「川の子ども新聞」を続けてほしい。(中3・女)

○タロスワードパズル、いつも楽しんでます。(小2・男)「理想の進化に電算器馬」のモデルが「下久保ダム」だということを知りました。「川の子ども新聞」いつも楽しく拝見させてもらっています。(5)

○ダムのことがよく分かりました。(小2・男)「川の子ども新聞」の発行を息子もとても楽しみにしています。子どもにも書かれている「ふりがな」も勉強不足の私にはとても助かっています。私としては息子を子ども記者に参加させ、川についての知識を得たり他校の異学年の子どもと仲よくなりたいと思っていますが、当の本人は行ききたる半分、不安が半分といったところです。富岡市近辺の取材ならば、いとこ(小3)と一緒に子ども記者として参加させたいです。(既)

○ダムのことは少し知っていたけど、浅間山大噴火と利根川の関係は全然知らなくて、むしろ関係なんか全然ないと思っていたので、とても勉強になりました。いつもいろいろ勉強になっていて、とても楽しく見えています。「川の子ども新聞」大好き!!(小5・女)

○おもしろかった記事は、利根川と浅間山との関係。前号知っていたのとまた違うことが分かっておもしろかったし、楽しかった。おもしろくなかった所は、特になくてどれもおもしろい記事ばかりでした。ちゃんと文が読みやすくて、よかったです。(小5・女)

○浅間山の噴火の話は前回聞いたことがありましたが、でも、利根川に流れ込み洪水を起こした話は新聞を読んで知りました。自然の力はすごくて改めて思いました。(小6・女)

○川の流れの速さの計算はまだ少しむずかしいけど、橋の上から見ると「今日は少しいつもより速い」といったことが分かるような気がして。遠足で行った鬼押出しの遊覧船で流れて来たか悔いした。(小4・男)

○ダムの役割のすごさと浅間山の噴火ですごい被害が出たのをもっと知りたいと思いました。鬼押出しに行つて自分の目で見たいです。(小4・女)

※ここで紹介しきれなかった意見や感想は、8月以降に利根川ダム総合管理事務所のホームページ(アドレスは1ページの下の)で紹介していきます。



さくねらびについて、ことしは、第3回「川の虫をさがし」を企画、子ども参加して！そして、りゅうばんまの川の水質マップをくろう！

第11号「川の虫をさがして」

川の虫をさがして、水の「きれい度」チェック！ じつじの夏も、みんなで、ね!

※参加してほしいのは、群馬県内の小・中学生たち。さあ、みんなが近らず学校の先生に相談して、次の方法で調査をしてね！

- ①学校の先生から「記録用紙」をもらう。
- ②先生とおとうさんやお母さんなど、おとなの人と一緒に川へ行ってね。
- ③「記録用紙」に調査結果を書いて、先生におたす(みんなの写真も一緒に)とわたしてね。あとは、先生がまとめて、新聞社まで送ってくれるよ。
- ④子どもにもたたくだけで調査に行かないで、かならず先生や親といっしょに行き、準備のしめきりは7月7日(水)。
- ⑤「日消し有地」みんなの力で、どんな「水質マップ」ができるか！その結果は、10月に発行する第13号でみんなの写真といっしょに発表する予定です！

**■用意するもの**

・たまあみ(まのついたあみ。あみは目目が細かくて、じょうぶなもの)

・温度計

・ペンゼット

・ルーペ(虫めがね)

・プラスチックや金せく

・のり(1角の大きい)

・おそろい(またはプラスチックの水さし)

・ノート、筆記具

・カメラ、またはスケッチ帳と色えんぴつなど

**■とり方**

①川の浅いところで、手ごろな大ききの石を持ち上げるくらゐの石を見つけて。

②その石の下流に、あみをおく(あみを水の中心に入れて、口を石のほうに向けると、石の表面を流す手をした手で全入りにする。)

③石をさがして、もう一度する。

④石をさがすと、石にひっついた虫たちがはがされ、水に落ちると、あみの中へ入っていく。

**■調べ方**

①あみをかからへ引きあげて、あみの中の虫たちをピンセットでつまんで、トレー(または水がはいるか、ルーペで見ると、図かんなどで名前を調べてみる。

②カメラで写真を撮るとろう。または、色えんぴつでかきとってスケッチしてみよう。

③虫の種類とつかまえた場所と日にも、時間と気温・水温をメモしよう。

④かんさつがすなら、虫たちをもとの川にかえしてあげよう。



入れて、口を石のほうに向けると、石の表面を流す手をした手で全入りにする。)

③石をさがして、もう一度する。

④石をさがすと、石にひっついた虫たちがはがされ、水に落ちると、あみの中へ入っていく。

**■調べ方**

①あみをかからへ引きあげて、あみの中の虫たちをピンセットでつまんで、トレー(または水がはいるか、ルーペで見ると、図かんなどで名前を調べてみる。

②カメラで写真を撮るとろう。または、色えんぴつでかきとってスケッチしてみよう。

③虫の種類とつかまえた場所と日にも、時間と気温・水温をメモしよう。

④かんさつがすなら、虫たちをもとの川にかえしてあげよう。

※ここで紹介しきれなかった意見や感想は、8月以降に利根川ダム総合管理事務所のホームページ(アドレスは1ページの下の)で紹介していきます。